お子さんやお孫さんに
ワクチンを勧める前に

3月から12歳未満の子どもたちの接種が始まるかもしれない。わが子や孫に接種を勧めるのか。その判断材料となる資料やデータは全て厚生労働省のホームページに載っている。しかしその正確な情報を知らない人は意外に多い。ここでは厚労省のホームページから、接種前に最低限知っておきたい最新情報をピックアップして、今一度、未成年者の接種について考えてみたい。

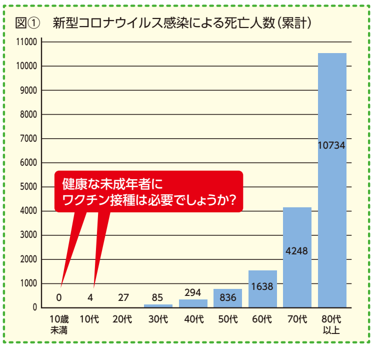
厚労省ホームページから「未成年接種」を考える

未成年者のワクチン接種後 重篤者387人・後遺症※8人・死亡者5人

未成年者（0歳～20歳未満）がコロナワクチンを接種するメリットは何だろう？厚労省の資料（図①）によれば、未成年者のコロナ感染死はこれまでに**4人**いるが、その内の3人は元々**重度の基礎疾患**があったことが分かっている。そしてもう一人はコロナ感染ではなく事故で亡くなり、その後のPCR検査で陽性反応が出たために「コロナ感染死」扱いになったものだ（東京都発表）。つまり、**これまでにコロナ感染で死亡した健康な未成年者はただの一人もいないし、重症化もほとんどしていない。**

これまでオミクロン株も含め**新たな変異株**が出るたびに、様々な専門家が**「子どもも重症化する可能性がある」**と発言してきたが、実際は感染してもほとんどが無症状か軽症で済んでいる。未成年者にワクチンが必要ないことは厚労省のデータが証明していると言える。

ところが未成年者がそもそも必要ないはずのワクチンを打つことによって、多くの重篤者（命の危険が切迫している患者のこと）や死亡者が出てしまっている。昨年10月30日には**13歳の少年**がファイザー製ワクチンを接種した**4時間後**に入浴、浴槽内で水没しているところを発見されている。また、未成年者のワクチン副反応疑い報告はすでに**1606人にも上り、そのうち重篤者は387人、後遺症※8人、死亡者は5人。**20代も含めると**副反応疑い報告が7006人、重篤者1100人、後遺症※28人、死亡者32人**にも上る。すでに**本末転倒な状況**に陥っているのかもしれない。


図①　新型コロナウイルス感染による死亡人数（累計）

※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（令和4年1月18日24時時点）

この状況を招いた最大の要因は、国や自治体が躍起になって広めた**「周りの人のために接種すべき」**というスローガンではないだろうか。**「思いやりワクチン」「親孝行ワクチン」「大切な人を守るために」**等のCMをよく目にした。この接種推進CMによって、たとえ自分自身に必要なくても、子どもや若者も**「家族や会社や社会のために接種すべき」**という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれてしまった。

しかしその目的のために、子どもや若者達に自らの命や健康を賭けさせること自体がそもそも非常識ではないだろうか。**大阪府泉大津市**の南出市長は、大阪市立大学の井上正康名誉教授（分子病態学）から教示を受け、当初からこのような事態を想定していたため、若年層の接種には慎重な姿勢を示してきた。今後はこのような自治体も増えてくるかもしれない。

※後遺症の人数は令和3年12月5日までの報告数

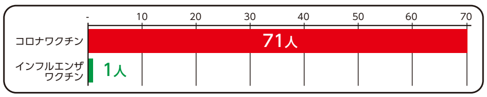
ワクチン接種と1400人超の死亡は本当に関係ない？

未成年者にとって有害なものは、大人にとっても有害な可能性がある。事実、コロナワクチン接種後の死亡者の中で、医者がワクチンの影響を疑って厚労省に報告した事例が、1月14日時点で**1444人**（ファイザー製1377人・モデルナ製66人・アストラゼネカ製1人）に達している。しかし**ワクチン接種会場で突然死**した場合も含めて、厚労省は一人として**因果関係**を認めていない。つまり、厚労省のホームページに明記されている通り**「接種が原因で多くの方が亡くなったということはありません。」**という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時たまたま何かの病気で亡くなったことになる。

しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にはたまたま大勢の人が死亡するのに、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろう？（図②）その理由は**「たまたまの死亡」**ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、コロナワクチンの接種そのものが原因で多くの人が死亡した可能性も考えざるを得なくなる。

そして、この可能性は、ワクチン接種後の死亡者を**「接種後、何日目に死亡したか」**で分類すると、さらに現実味を帯びてくる（図③）。もし本当に死亡した人達がワクチンと関係なく、たまたまその日に何かの病気で死亡したのであれば、日毎の偏りはさほど大きくないはずで、**青線**※のように、ある程度ならされた分布になることが予想される。しかし実際には接種した翌日までに死亡した人が圧倒的に多く、**赤線**のような極端な分布になる。**この統計はワクチン接種と死亡との因果関係を示唆しているのではないだろうか。**

もちろん個々の因果関係は分からないが、死亡者の死因も千差万別ではなく、**血栓症**（血の塊が血管を塞ぐ病気）や**循環器系**（心臓と、全身に血液を循環させる血管ネットワーク）障害が圧倒的に多い。この偏った分布と死因を見る限り、ワクチンにはまだ明らかにされていない何らかの**有害性**があり、それが原因でこれまでに健康な子どもや若者も含め、多くの人が死亡した可能性は決して否定できないだろう。


図②　ワクチンの接種後死亡者数（1000万回接種した場合）

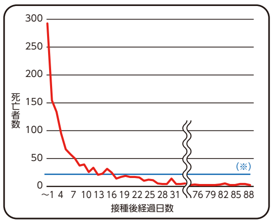
※厚生労働省HP：令和元年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑いの報告について
（接種回数：56,496,152回、死亡6人）
新型コロナワクチンにおける副反応疑い報告の状況について
（ファイザー・モデルナ・アストラゼネカ推定接種回数：200,847,188回、死者1438人/令和4年1月2日時点）

POINT!

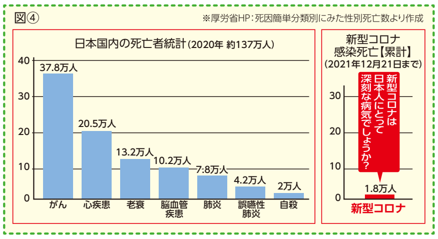
厚労省HPに掲載されている
コロナワクチン3つの事実

1. ①インフルエンザワクチンと比べて、**接種後死亡**が圧倒的に多い。
2. ②接種した**翌日までに死亡した人**が圧倒的に多い。
3. ③接種後死亡者の死因は、**血栓症や循環器系障害**が圧倒的に多い。

推測　「ワクチン接種」が原因で死亡した人がいるのでは？


図③　ワクチン接種後、何日目に死亡したか

厚生労働省HP　新型コロナワクチン接種後の死亡として報告された事例の概要（令和4年1月21日）より作成
接種当日（0日）の死亡者数は、接種後の経過時間が短いため1日に含めて集計


図④　※厚労省HP：死因簡単分類別にみた性別死亡数より作成

ワクチンの安全性は2023年5月まで不明

厚労省はホームページに「ワクチンが不正出血や月経不順を起こすことはありません。」と明記しているが、イギリスでは生理関連の副反応を訴える報告が3万件以上に上っている。アメリカでも同様の事例が多発しているため、米国立衛生研究所（NIH）が昨年9月末から調査を始めている。生理不順や無月経、生理痛の増加、生理量の変化などの症状だけでなく、閉経したが生理が再開したという副反応まで報告されていて、日本国内においても不正出血や月経不順を訴える例が増えてきている。

ワクチン接種に関しては、この他にも心筋炎の症例が多かったり、3回目のワクチン接種が必要になったりと、厚労省も製薬会社も想定していなかったことが数か月の間にいくつも起こっている。その理由は、今回のワクチンが人体に用いるのが初めてであり、有効性も安全性も2023年5月まで不明（ファイザー）の**「臨床試験中の実験試薬」**だからだ。それは**人体への長期的な影響が誰にも予見できないこと**を意味する。

河野太郎元ワクチン担当大臣は、自身のブログで「治験が省略されることなく実施され」、「長期的な安全性について特段の不安があるということはありません。」と断言している。ところが事実は違っていて、厚労省は「審議結果報告書」の中で**「接種後長期の十分な安全性データが得られていないことには留意が必要である。」**と記載している。ワクチンの安全性を確認する手続きを**特例承認**で省略してしまったため、厚労省も今後数年に渡って何が起こるかが分からないまま接種を推し進めているのが現状だ。

また、ワクチンが生殖機能に及ぼす影響についても注意が必要だ。ファイザー社が厚労省に提出している「薬物動態試験の概要文」には、ワクチンの成分が確実に**卵巣や精巣上体**にも集まる動物実験のデータがある。厚労省ホームページには**「不妊にならない」**との記載は一言もなく、ただ「現時点では、ワクチン接種が不妊の原因になるという科学的な根拠は報告されていません。」と書いてあるだけだ。

これについて前出の井上正康大阪市立大学名誉教授は「ワクチン接種は始まったばかりのため、不妊の根拠が報告されるとしたら、**これから数年～数十年後**のことである。何らかの異変や有害事象が起こる可能性は否定できない。**臨床試験中の実験試薬**とはそういうものであり、**動物実験で危険性が示唆されている治験薬**を生殖世代に接種すること自体、極めて非常識である」と警鐘を鳴らし続けている。**すでに全国の医師390人が連名でワクチン接種中止を求める嘆願書を厚労省に提出している**が、今後も死亡や健康被害が増え続ければ、**大規模な薬害事件**に発展する可能性もある。

最後に想像してほしい。もしあなたの子どもや孫がワクチン接種後に突然亡くなったり重大な健康被害に遭ったり後遺症が残ったりしたら、ワクチンが原因ではないかと疑ってしまうのではないだろうか？また**「因果関係なし・不明」**という発表に納得できるだろうか？そして子どもに接種を勧めたことを後悔し続けるのではないだろうか？そのような悲しくてやりきれない思いをしている親御さんが実際に何人もいるが、これは決して他人ごとではない。

（令和4年1月21日時点）

※ここでの内容は、主に厚労省ホームページに掲載されている情報や新聞各社で報道された情報を基にしています。

本当に必要ですか？
子どもへのワクチン

（賛同団体）岡山・倉敷新型コロナウイルス感染対策市民審議会

「簡単!10分で分かる
新型コロナワクチンの危険性」
井上正康先生講演会動画

2021年最新版
ニコニコ動画で再生
「新型コロナウイルスとワクチンについて」
特別講座
大阪市立大学名誉教授（分子病態学）
井上 正康先生

おすすめ最新書籍
（参考文献）

コロナ論4
ワクチンの「嘘」とファシズム化する日本
ワクチンを巡る「不都合な真実」が隠蔽されている！
17万部突破!
接種後の死者はすでに1200人超
それでも、3回目、4回目と永遠に打ち続けるのか？
小林よしのり

まんがで分かりやすく解説!
「ゴーマニズム宣言SPECIAL
コロナ論4」（扶桑社）
著書：小林 よしのり
（2021年11月18日）

皆様からのご支援で活動しております。

累計寄付金額 170,908,063円（2月7日17時35分時点）

ワクチン接種後につらい症状が出た場合は…。

すぐに「肺CT画像と血中Dダイマー」を検査し、不幸にも亡くなられた場合は「病理解剖」を依頼しましょう。ワクチン接種と副作用の因果関係は、情報不足で「不明」と処理されることがほとんどですが、「予防接種健康被害救済制度」を適用してもらうためにも強くお勧めします。

詳しい情報は、こちらからもご覧頂けます ▶
https://jcovid.net/
ゆうネット　意見広告　検索

メールまたは上記QRコードよりご意見・ご感想をお寄せください
メール mail@dbank.jp

株式会社ゆうネット
新型コロナウイルス関連情報発信センター
代表取締役 堤　猛　（ご意見はメールよりお願いします。）
福岡県福岡市中央区天神4-1-17　2F　　TEL 092-235-2470